

全校集会 学校長の話（2026 年 10 月 13 日）

- おはようございます。いよいよ今週は合唱コンクール。校舎には皆さんの歌声が響いています。実は、その歌声を聞いて、教頭先生が泣いてはります。ほんまの話です。まだ本番前なのに。本番もぜひ、泣かせてください。
- さて、3 年生の話をします。北稜中学校では、3 年生になると校長との面接練習があります。先週、欠席していた人を除き、全員との練習が終わりました。4 人から 6 人ずつ、10 分ほど。「この 3 年間で一番頑張ったことは何ですか」などと質問し、一人ずつ答えてもらいます。
- 緊張して声が震える人も、言葉が出てこない人もいます。これまでは、思わず笑いが起こり、周りに広がることもありました。
- でも、今年の 3 年生は違いました。誰かが答えている間、周りは最後まで真剣に聞いていました。笑いそうになっても、ぐっとこらえている。何度も思いました。「ええ学年やなあ」と。
- 1 学期の終業式で話した、シンパシーとエンパシーを覚えていますか。シンパシーは、相手を気の毒に思うこと。エンパシーは、「自分がこの人やったら」と相手の立場を想像することです。考えてみてください。勇気を出して答えているとき、隣から笑い声が聞こえたら。「今の答え、変やったのかな」。そう思った瞬間、頭が真っ白になるかもしれません。
- 人を大切にすると、特別なことをするだけではありません。黙って待つこと。最後まで聞くこと。誰かが安心して、自分の力を出せるようにすること。そんな、目立たない優しさもあるんです。僕は 4 月から、「自分を大切にすること。隣にいる人を大切にすること」と言い続けています。3 年生は、それを言われなくても、自然にやっていました。
- 僕は、3 年生の面接練習をしていたつもりでした。
でも、大切なことを教えてもらったのは、むしろ僕のほうでした。
- 合唱コンクールは学年ごとに行われます。自分たちは思い切り歌い、ほかのクラスの歌は、心を込めて聴いてください。歌っている人の一生懸命を、聴いている人も一生懸命に受け止める。歌っている間の静けさにも、相手を大切にする気持ちは表れます。
- 順位はつきます。でも、順位だけでは測れないものがあります。「この仲間と歌えてよかった」と思えることです。歌う人も、聴く人も、お互いを大切にできる。それが、僕の目指す「明日も来なくなる学校」です。
では本番、教頭先生を思っきり泣かせてください。楽しみにしています。以上です。